

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果・分析

南伊勢町
平成29年12月

本町では、教育施策や学校における指導方法の工夫改善につなげるため、これまでも、町学力向上委員会等で、児童・生徒の学力・学習状況を把握し、課題について検証してまいりました。今年度も、全小・中学校において、文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査を通して、教科の概要とともに、児童・生徒の意識調査から学習意欲や学習方法等に見られる課題について分析を行いました。

本町の教育が目指すところは、学校の教育力や教職員の指導力を高めることにより、子どもたちが「知」「徳」「体」のバランスがとれた「生きる力」「人間力」を育成することです。

各学校において、子どもの学力向上につながる「魅力ある授業づくり」等、具体的な指導方法の工夫改善を図るとともに、教育委員会としましても、調査結果の分析を各学校の授業研究を支援する体制づくり等、教育施策に反映させ、確かな学力を育む取組を積極的に進めてまいります。

教科に関する調査の結果・分析

(1) 本町における特徴的な傾向

<小学校国語A>

○強み

- ・問題2二：平均正答率 57.6%（三重県 42.2%、全国 41.5%）
無解答率 0.0%（三重県 0.2%、全国 0.3%）
手紙の構成を理解し、後付を書くことができています。
- ・問題7（1）：平均正答率 47.5%（三重県 37.0%、全国 42.0%）
無解答率 3.4%（三重県 8.8%、全国 10.6%）
- ・問題7（2）：平均正答率 83.1%（三重県 78.0%、全国 80.0%）
無解答率 1.7%（三重県 3.7%、全国 4.6%）
- ・問題7（5）：平均正答率 89.8%（三重県 75.70%、全国 76.8%）
無解答率 1.7%（三重県 10.5%、全国 11.8%）

漢字を正しく書くことができています。

○弱み

- ・問題6：平均正答率 59.3%（三重県 68.8%、全国 71.1%）
無解答率 0.0%（三重県 1.4%、全国 1.6%）

古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 読み取った情報を条件に合った記述をすることが難しい。

<小学校国語B>

○強み

- ・問題3一：平均正答率81.4%（三重県 76.3%、全国 75.9%）
無解答率0.0%（三重県 2.2%、全国 2.6%）

登場人物の相互関係や心情・場面についての描写を捉えることができます。

- ・問題3二：平均正答率30.5%（三重県 26.7%、全国 28.0%）
無解答率0.0%（三重県 2.9%、全国 3.2%）

自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることができます。

○弱み

- ・問題1二：平均正答率55.9%（三重県 68.9%、全国 69.2%）
無解答率1.7%（三重県 4.0%、全国 3.8%）

話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことに課題がある。

<小学校算数A>

○強み

- ・問題2（4）：平均正答率83.1%（三重県 64.3%、全国 69.2%）
無解答率1.7%（三重県 3.9%、全国 3.9%）

商を分数で表すことができます。

- ・問題3：平均正答率94.9%（三重県 84.4%、全国 86.2%）
無解答率0.9%（三重県 1.1%、全国 1.2%）

二つの数の最小公倍数を求めることができます。

○弱み

- ・問題4：平均正答率52.5%（三重県 63.2%、全国 66.6%）
無解答率0.0%（三重県 0.5%、全国 0.6%）

加法と乗法の混合した整数と小数の計算について理解する必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 単純な計算をする力はあるが、四則が混合したり、計算式が長くなったりした式でも、正確に計算する力をつけることが課題となっています。

<小学校算数B>

○強み

- ・問題4（1）：平均正答率46.7%（三重県 39.7%、全国 39.8%）
無解答率3.3%（三重県 4.8%、全国 4.8%）

示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述す

ることができています。

- ・問題 5 (2) : 平均正答率 18.3% (三重県 10.9%、全国 13.2%)
無解答率 3.3% (三重県 7.9%、全国 8.7%)

身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することができています。

○弱み

- ・問題 2 (2) : 平均正答率 16.7% (三重県 24.9%、全国 27.4%)
無解答率 5.0% (三重県 5.5%、全国 6.0%)

直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用する力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 数量関係について、言語によって説明する力をつける必要がある。

<中学校国語 A>

○強み

- ・問題 5 一 : 平均正答率 80.8% (三重県 78.9%、全国 79.8%)
無解答率 0.0% (三重県 0.1%、全国 0.2%)

文章の構成を工夫して分かりやすく書く力がついています。

○弱み

- ・問題 8 一 : 平均正答率 74.0% (三重県 80.8%、全国 81.9%)
無解答率 0.0% (三重県 0.5%、全国 0.6%)

文章の表現の仕方について自分の考えをもつ力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 書いた文章を互いに読み合い、自分の表現に役立てるとともに、自分の考えを広げたり深めたりする力をつける必要がある。

<中学校国語 B>

○強み

- ・問題 3 三 : 平均正答率 68.5% (三重県 67.4%、全国 68.8%)
無解答率 4.1% (三重県 7.5%、全国 7.4%)

必要な情報を集めるための見通しを持つことができています。

○弱み

- ・問題 1 三 : 平均正答率 32.9% (三重県 38.2%、全国 41.4%)
無解答率 9.6% (三重県 14.4%、全国 14.3%)

表現の仕方について捉え、自分の考えを書く力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 文章の構成を捉え、必要な情報を読み取ることが難しい。

<中学校数学A>

○強み

- ・問題6(1)：平均正答率49.3% (三重県 45.0%、全国 43.1%)

無解答率0.0% (三重県 0.4%、全国 0.6%)

平行線と角の性質や多角形の内角・外角の和について理解することができます。

- ・問題12：平均正答率75.3% (三重県 66.4%、全国 67.6%)

無解答率0.0% (三重県 1.0%、全国 1.1%)

具体的な事象における2つの数量の変化や対応を、グラフから読み取ることができます。

○弱み

- ・問題13：平均正答率43.8% (三重県 54.3%、全国 52.8%)

無解答率15.1% (三重県 14.7%、全国 16.6%)

具体的な場面で、一元一次方程式をつくる力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 数量関係と方程式の関係を理解する必要がある。

<中学校数学B>

○強み

- ・問題3(2)：平均正答率24.7% (三重県 18.8%、全国 18.4%)

無解答率21.9% (三重県 32.3%、全国 33.4%)

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができます。

- ・問題5(3)：平均正答率19.2% (三重県 16.3%、全国 17.6%)

無解答率28.8% (三重県 29.8%、全国 31.2%)

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができます。

○弱み

- ・問題1(2)：平均正答率8.2% (三重県 12.9%、全国 14.0%)

無解答率19.2% (三重県 16.8%、全国 17.7%)

2つの図形の関係を捉え、数学的な表現を用いて説明する力をつける必要があります。

- ・問題2(3)：平均正答率8.2% (三重県 13.2%、全国 14.5%)

無解答率13.7% (三重県 22.7%、全国 23.4%)

事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明する力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 特に「数と計算」「図形」の領域において、自らの考えを振り返り、違った考え方を見つける力をつける必要がある。

□国語、算数・数学のほぼすべての問題において無回答率が県平均や全国平均よりも低い。あきらめずに、最後まで取り組む姿勢が身についてきている。

(2) 学習への関心・意欲・態度

<児童・生徒質問紙における達成率>

質問項目		南伊勢町	三重県	全国
国語の勉強は好きですか	小	35.0	58.0	60.5
	中	48.0	58.1	60.5
国語の勉強は大切だと思いますか	小	83.3	91.0	91.2
	中	82.2	90.1	88.8
国語の授業の内容はよくわかりますか	小	80.0	83.4	82.2
	中	67.2	77.6	74.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	小	63.3	64.6	68.0
	中	61.7	60.6	67.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	小	58.3	63.2	63.4
	中	58.9	54.5	55.6
算数・数学の勉強は好きですか	小	58.3	66.7	65.9
	中	68.5	57.7	55.4
算数・数学の勉強は大切だと思いますか	小	80.0	92.1	92.0
	中	82.1	82.7	81.1
算数・数学の授業の内容はよくわかりますか	小	75.0	83.3	80.5
	中	84.9	75.0	69.5
算数・数学の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	小	65.0	76.8	75.7
	中	84.9	76.2	73.5
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	61.7	68.4	69.1
	中	57.5	45.4	45.3

<全体的傾向と課題>

- 中学校数学においては、教科に対する意欲は、高いものの、国語及び小学校算数においては、「勉強は好きか」「勉強は大切だと思うか」に対しての肯定的な意見が少ない。
- 国語科において、「意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫する」意識を、中学校ではさらに高く持つことができている。
- 算数・数学では小学校より中学校で肯定的な意見が多い。特に「新しい問題に出合ったとき解いてみたい」という意欲は、中学校で大きく伸びている。